

ほけんだより 12月

玖島小学校 保健室

12月4日(木)発行



いよいよ12月、今年もあと1か月となりました。比較的暖かかった11月でしたが、12月に入った途端に雪が降り、冬らしい寒さが到来しました。そうなればインフルエンザの流行も目の前にせまってくることになります。そこで今日の学校朝会では、インフルエンザ予防についてのビデオを見て、手洗い・うがいが大切であることを再確認しました。

「手洗い」で救える命 10月15日は「世界手洗いの日」

手洗い手順 (石けん液) © SARAYA CO., LTD.

SARAYA
http://www.tearai.jp/



世界で5歳のお誕生日を迎えられずに亡くなる子どもの数は、年間約880万人とされているそうです。その多くは予防可能な病気が原因で亡くなっています。もし石鹸を使って正しく手を洗うことができれば、年間100万人もの

命を救うことができ、下痢で学校を休まなければいけない子どもたちも大幅に減らすことができます。しかし、衛生状態のいい日本で暮らす私たちは、普段は何気なく手を洗っているますね。石鹸を使った手洗いは、「自分の体を病気から守る」とてもシンプルかつ有効な方法だということを忘れないでください。」という思いから、正しい手洗いを広めるために、平成20年から、10月15日は「世界手洗いの日」と定められました。

健康委員さん、頑張っています！！

用務員の宮下さんがわくわくファームで作られた『どでかぼちゃ』。運動会の日に入場門の横にかざってあったのを覚えておられますか？ みなさんへのお披露目が終わった後、さてどうしようかと思っていたところ、アイデアマンの健康委員が、『「ジャコランタン」を作ってみんなを驚かせたい!』と。そして登場したのが、学習発表会。みんなで頑張った影絵の発表に、花が添えられていたように思います。

そして今度は『さつまいも』。11月にわくわくファームで収穫したさつまいもは6キロほど。もちろん給食の食材として2度ほど、そして学習発表会の味噌汁の具にも使いましたが、「何か作ってみんなに食べてもらいたい!!」ということで、12月の委員会の時間を利用して『スイートポテトタルト』作りに挑戦しました。出来上がったのが下校時刻のほんの少し前でしたが、みんなが大ホールで待っていてくれて「おいしーい!」と言って食べてくれました。そう言われ、とてもうれしそうな健康委員の顔を見ていたら、心がホッと温くなりました。今年、健康委員が育てた野菜はトマト・ピーマン・きゅうり・枝豆・さつまいもです。収穫した野菜はこれまでに給食でおいしくいただいています。もう少ししたら大根も収穫できそうです。健康委員さん、ごちそうさまです。

